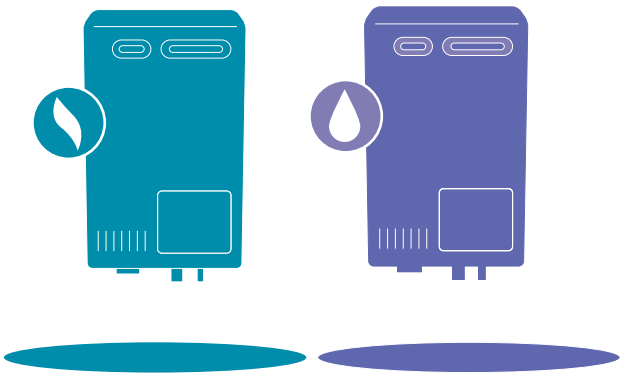
省エネ機器の上手な使い方・選び方

「ガス温水機器・石油温水機器」

使い方を工夫することで上手に省エネができます。



■ 上手な使い方

● 目的に合わせてこまめに温度調節をして使用しましょう。

ふだんから低めに設定しましょう。

● 食器洗いやシャワーでのお湯の出しっ放しは止めましょう

食器洗いはまとめ洗いや食洗機を使うと節水・省エネ。

● シャワーは不必要に流したままにしない

年間でガス **12.78m³** の省エネ

年間で水道 **4.38m³** の省エネ

原油換算 **14.82ℓ** CO_2削減量 **29.1kg**

45℃のお湯を流す時間を1分間短縮した場合

ガス使用量を計算式でも確認してみましょう(都市ガスの場合)
水量(12リットル) × 温度差(設定温度45℃ - 水温20℃) ÷ 熱効率(0.8) ÷ 10750(1m³あたり熱量(キロカロリー)) × 2回 × 365日 = 12.73m³

水道使用量を計算式でも確認してみましょう
シャワーで1分間12Lの水を使用する場合、
12L × 365日 = 4,380L = 4.38m³

ガス給湯器(キッチン)

● 食器を洗うときは低温に設定

年間でガス **8.80m³** の省エネ

原油換算 **10.21ℓ** CO_2削減量 **20.0kg**

65ℓの水道水(水温20℃)を使い、湯沸し器の設定温度を40℃から38℃にし、1日2回手洗いした場合(使用期間：冷房期間を除く253日)

ガス使用量を計算式でも確認してみましょう(都市ガスの場合)
水量(65リットル) × 温度差(2℃) ÷ 熱効率(0.7) ÷ 10750(1m³あたり熱量(キロカロリー)) × 2回 × 253日 = 8.74m³

ガス給湯器(お風呂)

● 入浴は間隔をあけずにしましょう

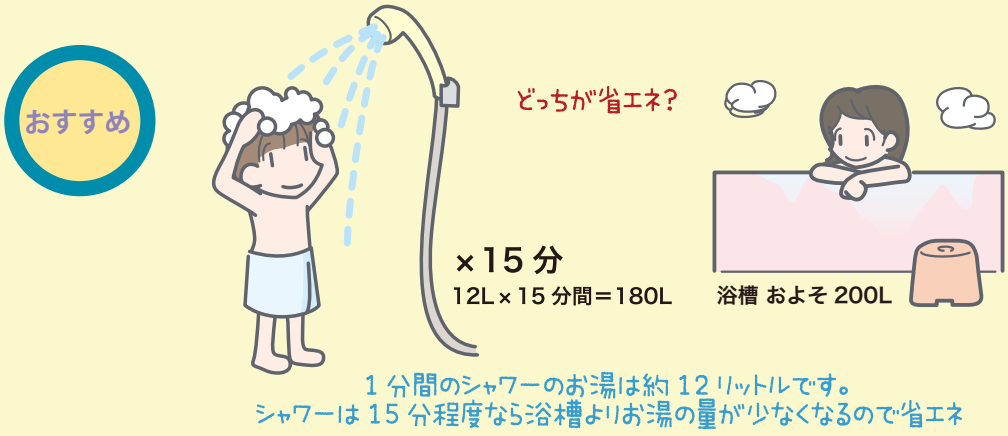
なるべく追いだきはしないように。

年間でガス **38.20m³** の省エネ

原油換算 **44.31ℓ** CO_2削減量 **87.0kg**

2時間放置により4.5℃低下した湯(200ℓ)を追いだきする場合(1回/日)

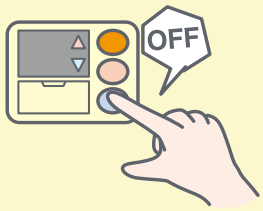
ガス使用量を計算式でも確認してみましょう(都市ガスの場合)
水量(200リットル) × 温度差(4.5℃) ÷ 熱効率(0.8) ÷ 10750(1m³あたり熱量(キロカロリー)) × 365日 = 38.2m³



このページのデータは一般財団法人 省エネルギーセンターの実測値を使用しています。

洗う前に水につけておいたり、ヘラやボロ布で汚れを拭き取っておくと、使うお湯の量が少なくてすみます。

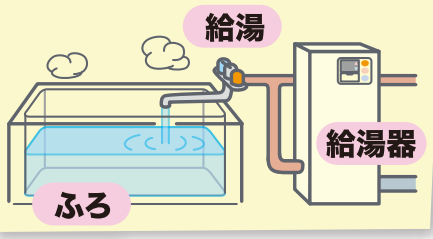
使用しないリモコンや操作パネルのスイッチを入れたままだと電力を消費しますが、こまめなオンオフは、省エネに逆効果です。
長時間使用しない時はOFFにしましょう。



給湯まめ知識

お風呂やキッチンで上手に省エネ

給湯付ふろがまの場合、浴槽に水をためて沸かすよりも、お湯をためる方が省エネ！一般的に風呂は、水から沸かしたり追いだきや沸かし直しをするよりは、給湯のほうがガスを効率よく使うことができます。



ガス温水機器は家族の人数やライフスタイルに合った能力や機能のものを選びましょう。エネルギー消費効率が100%に近いほど省エネ性能が優れています。

ガス温水機器省エネルギーラベル

ガス瞬間湯沸器、ガスふろがま、ガス暖房機器など

■ 上手な選び方

家族の人数やライフスタイルに合った能力や機能のものを選びましょう。

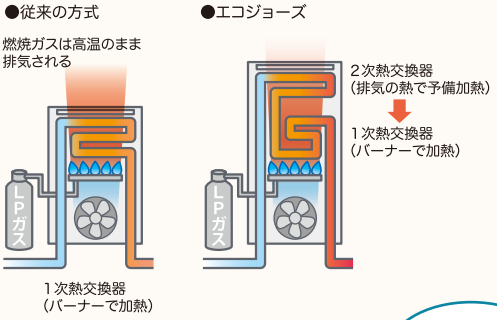
● 温水機器の種類(ガス・石油)

1台で台所、洗面所、浴室の給湯に利用できる瞬間式湯沸器や給湯付ふろがまが一般的です。また、給湯と暖房とが同時に行えるものもあります。

● 能力(出力)

ガス温水機器の給湯能力は号数で、石油温水機器の給湯能力は連続給湯出力(kW)で示されます。号数、給湯出力が大きいほど数カ所で給湯を行っても、湯量が不足せずに余裕を持ってご利用になれます。

能力の目安	ガス温水機器	石油温水機器
	号数	連続給湯出力(kW)
2人家族の場合	16～20号	36.0kW
4人家族の場合	24号	46.5kW

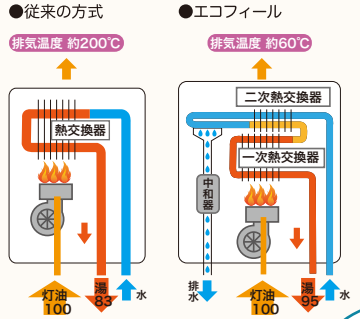


おすすめ

潜熱回収型ガス給湯器
エコジョーズ

従来型に比べ効率が12%アップ

ガスでお湯をつくる時の排気中に捨てられる排熱ロスを抑えたのが潜熱回収型給湯器。給湯時の熱効率を従来型給湯器の約80%から約95%までアップしました。CO_2排出量は約13%少なくなります。



潜熱回収型石油給湯機
エコフィール

従来型に比べ効率が15%アップ

灯油でお湯をつくる時の排気中に捨てられる排熱を回収して再利用し、熱効率を高めた新しい石油給湯機です。給湯時の熱効率を従来型給湯機の約83%から約95%までアップしました。CO_2排出量は年間約13%少なくなります。

■ 統一省エネラベルと多段階評価点

省エネ性能の高い順に5.0～1.0までの41段階で表示。
★（星マーク）は多段階評価点に応じて表しています。
評価点が高い製品を選ぶのが省エネ！

新ラベル

ガス温水機器
目標年度2025年度

石油温水機器
目標年度2025年度

ガス暖房機器
目標年度2025年度

石油温水機器（暖房用）
目標年度2025年度

エネルギー消費効率

エネルギー消費効率が高いほど、省エネ性が優れた機器といえます。

省エネ基準達成率

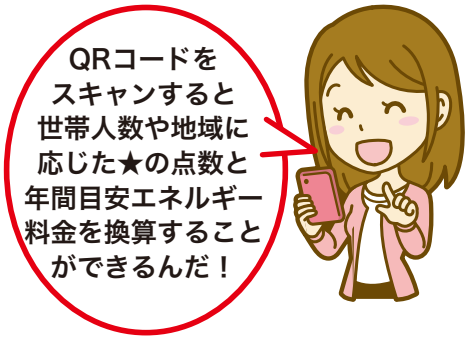
製品が属する区分の目標基準値をどのくらい達成しているかを%で示します。
ガス温水機器は、用途、通気方式により分けられた区分ごとに、目標基準値または目標基準値算定式が設定されています。
石油温水機器については、用途、加熱方式により分けられた区分ごとに、目標基準値または目標基準値算定式が設定されています。

使用する地域や世帯人数により多段階評価点及び目安ガス料金や目安灯油料金が異なりますので、ラベルに記載のQRコードからご確認ください。

暖房機器の場合、多段階評価点と目安ガス料金、目安灯油料金の記載はありません。ストーブと同じです。

ガス・石油温水機器　目標年度2025

温水機器換算アプリの使い方



手順 ❶
エネルギーの種類を選択します。

手順 ❷
ラベルを見て★の点数（任意）、エネルギー消費効率（必須）と年間目安エネルギー料金（必須）を入力します。
手順 ❶でエネルギーの種類を選択すると、自動で既定の単価が表示されます。（変更可能）

エネルギー単価については、最初に選択したエネルギーの種類に応じた既定の単価が表示されますが、変更することもできます。より実際に近い単価を入力すると、算出される年間目安エネルギー料金もより実際に近い金額になります。

手順 ❸
世帯人数と地域を選択します。
（地域は郵便番号でも選べます）

手順 ❹

換算

★の点数と年間目安エネルギー料金が表示されます。

エネルギー選択によりエネルギー単価を自動変更

エネルギー選択肢	エネルギー単価初期表示
電気	23
電気・寒冷地仕様	20
電気・少人数仕様	23
電気・寒冷地仕様・少人数仕様	20
都市ガス	156
液化石油ガス（LPガス）	706
灯油	88

エネルギー単価はユーザが入力して変更も可能
エネルギーを再選択したとき、単価が初期表示に戻る

ガス料金単価：都市ガス
156 円/m³

ガス料金単価：液化石油ガス（LPガス）
706 円/m³

灯油料金単価
88 円/L

★の点数及び年間目安エネルギー料金の換算表示

ガス温水機器

■ 掲載製品

家庭用で、ガス消費量が70kW以下であって、都市ガス（13A）か液化石油ガス（LPG）を使用するものを掲載しています。

（注）①JIS S 2109(2019)又はJIS S 2112(2019)の対象となるもの以外のもの②業務用のもの③都市ガス13Aのガスグループに属さないガスを燃料とするもの④ガス瞬間湯沸器のうち通気方式が自然通気式であって、給排気方式が開放式以外のもの⑤ガスふろがまのうち次のいずれかに該当するもの（給湯の機能を有しないもの、通気方式が自然通気式のもの、循環方式が自然循環式のもの、屋内に設置する構造のもの）⑥暖房専用ものは対象外です。

■ 絞り込み検索

通気方式、給湯能力等によって絞り込み検索ができます。

ガス瞬間湯沸器（自然通気式）	ガスふろがま・給湯能力16号以下	ガス暖房機器・給湯能力16号以下
ガス瞬間湯沸器（強制通気式）給湯能力16号以下	ガスふろがま・給湯能力20号	ガス暖房機器・給湯能力20号
ガス瞬間湯沸器（強制通気式）給湯能力20号	ガスふろがま・給湯能力24号	ガス暖房機器・給湯能力24号
ガス瞬間湯沸器（強制通気式）給湯能力20号超	ガスふろがま・給湯能力24号超	ガス暖房機器・給湯能力24号超

■ 一覧表の各種表示について

● エネルギー消費効率（%）

エネルギー消費効率は、瞬間湯沸器、ふろがま、暖房機器について、それぞれ測定した熱効率（%）を用います。

瞬間湯沸器

$$\text{モード熱効率（%）} = \frac{\text{出湯水が得た熱量}}{\text{消費したガスの発熱量}} \times 100$$

ふろがま

$$\text{モード熱効率（%）} = \frac{\text{浴槽水が得た熱量}}{\text{消費したガスの発熱量}} \times 100$$

暖房機器

暖房部と給湯部の熱効率を暖房部1：給湯部3で加重平均した数値。ただし、測定式は以下とする。

$$\text{暖房部　熱効率（%）} = \frac{\text{出湯水が得た熱量}}{\text{消費したガスの発熱量}} \times 100$$

$$\text{給湯部　熱効率（%）} = \frac{\text{冷却水が得た熱量}}{\text{消費したガスの発熱量}} \times 100$$

● 年間目安ガス料金（円/年）

目安ガス料金は1年間あたりのガス使用量（m^3/年）に東京・大阪を含む地域の平均的なガス料金単価（円/m^3）※を乗じて算出。

都市ガス（13A）

1年間使用した場合の目安ガス料金（円/年） ＝ 年間ガス使用量（m^3/年） × ガス料金単価 156（円/m^3）

液化石油ガス（LPG）

1年間使用した場合の目安ガス料金（円/年） ＝ 年間ガス使用量（m^3/年） × ガス料金単価 706（円/m^3）

（有効数字3桁100円未満は四捨五入。ただし年間目安料金が100,000円以上の場合、1,000円未満は四捨五入）

※ガス料金単価（円/m^3）はガス種によって異なります。都市ガスの料金単価は東京ガス大阪ガスの料金プランなどを基に作成。液化石油ガス（LPガス）の料金単価は環境省「家庭部門のCO_2排出実態統計調査（家庭CO_2統計）」の関東甲信及び近畿地域を基に作成。直近3年分の平均値（小数点第1位を四捨五入）で設定されています。

● 年間ガス使用量（m^3/年）（小数点以下四捨五入）

1年間のガス使用量（m^3/年）は東京・大阪の外気温度を前提に4人世帯を想定しています。各機器（暖房機能を有する機器は除く）について下の算出式で求めた数値を表示しています。
使用条件やガス種、ガス会社等により異なります。

用途	通気方式	ガス種	年間ガス使用量（小数点以下四捨五入）
ガス瞬間湯沸器	自然通気式	13A	8200/エネルギー消費効率(%)
		LPG	3600/エネルギー消費効率(%)
ガス瞬間湯沸器	強制通気式	13A	35600/エネルギー消費効率(%)
		LPG	15700/エネルギー消費効率(%)
ガスふろがま		13A	38000/エネルギー消費効率(%)
		LPG	16800/エネルギー消費効率(%)

用途	通気方式	構造	基準エネルギー消費効率(Em)
ガス瞬間湯沸器	自然通気式		77.5
ガス瞬間湯沸器	強制通気式	壁貫通型	84.37×0.9998
		壁組込型	84.37×0.9869
		強制給排気式	84.37×0.9900
		強制排気式（従来型に限る。）	84.37×0.9661
		レンジフード一体型（従来型に限る。）	84.37×0.8415
		その他	84.37
ガスふろがま		壁貫通型	87.21×0.9839
		壁組込型（従来型に限る。）	87.21×0.9576
		その他	87.21
ガス暖房機器			90.32

X=E/Em×100
X：機器の省エネルギー基準達成率（%）小数点以下切り捨て
E：エネルギー消費効率（%）
Em：基準エネルギー消費効率（区分により求める）

石油温水機器

■ 掲載製品

家庭用を掲載しています。

(注)①JIS S 3021(2017)、JIS S 3024(2017)又はJIS S 3027(2017)の対象となるもの以外のもの。(JIS S 2091(2013)に規定する高圧力型石油小形給湯機及び高圧力型石油給湯機付ふろがまを除く。)②業務用のもの③給湯用のもののうち加熱形態が貯湯式であって、急速加熱形以外のもの④暖房用のもののうち加熱形態が貯湯式であって、急速加熱形物以外のものは対象外です。

■ 絞り込み検索

加熱方式、連続給湯出力等によって絞り込み検索ができます。

給湯機（瞬間形）連続給湯出力40kW以下
給湯機（瞬間形）連続給湯出力40kW超
給湯機（貯湯式 急速加熱形）連続給湯出力40kW以下
給湯機（貯湯式 急速加熱形）連続給湯出力40kW超

給湯・浴用（瞬間形）連続給湯出力40kW以下
給湯・浴用（瞬間形）連続給湯出力40kW超
給湯・浴用（貯湯式急速加熱形）連続給湯出力40kW以下
給湯・浴用（貯湯式急速加熱形）連続給湯出力40kW超

暖房用 連続給湯出力40kW以下
暖房用 連続給湯出力40kW超

■ 一覧表の各種表示について

● エネルギー消費効率（%）

エネルギー消費効率は、用途について、それぞれ測定した熱効率（%）を用います。複数の機能を有する機器については、その主機能に係る熱効率とします。

給湯用

$$\text{モード熱効率（%）} = \frac{\text{連続給湯出力}}{\text{消費した石油の発熱量}} \times 100$$

給湯・浴用

$$\text{モード熱効率（%）} = \frac{\text{連続給湯出力+浴槽水が得た熱量}}{\text{消費した石油の発熱量}} \times 100$$

暖房用

$$\text{熱効率（%）} = \frac{\text{暖房出力}}{\text{消費した石油の発熱量}} \times 100$$

● 連続給湯出力（kW）

給湯機の給湯能力を表します。46.5kWなら1分間に18Lの出湯量(水温5℃→42℃)になります。

● 年間目安灯油料金（円/年）

目安灯油料金は1年間あたりの灯油使用量(L/年)に東京・大阪を含む地域の平均的な灯油料金88(円/L)※を乗じて算出します。

使用条件や灯油単価等により異なります。

ただし、暖房機能を有する機器は除きます。

$$\text{年間目安灯油料金（円/年）} = \text{年間灯油使用量（L/年）} \times \text{灯油料金単価 88（円/L）}$$

(有効数字3桁100円未満は四捨五入)

※灯油料金単価は環境省「家庭部門のCO_2排出実態統計調査（家庭CO_2統計）」の関東甲信及び近畿地域を基に作成。直近3年分の平均値小数点第1位を四捨五入)で設定されています。

● 年間灯油使用量（L/年）

1年間の灯油使用量(L/年)は東京・大阪の外気温度を前提に4人世帯を想定しています。給湯用と給湯・浴用の機器は下表の算出式より、有効数字3桁まで求めた数値を表示しています。

用途	年間灯油消費量（小数点以下四捨五入）
給湯用	44200/エネルギー消費効率(%)
給湯・浴用	47300/エネルギー消費効率(%)

用途		加熱方式	構造	基準エネルギー消費効率(Em)
給湯用	浴用なし	瞬間形	圧力噴霧式	89.68×0.9585
			その他	89.68
		貯湯式急速加熱形		76.88
	浴用あり	瞬間形	圧力噴霧式	90.01×0.9492
			その他	90.01
		貯湯式急速加熱形		76.07
暖房用		貯湯式急速加熱形	オンーオフ制御式（従来型に限る。）	87.06×1.0051
			その他	87.06

X=E/Em×100
X：機器の省エネルギー基準達成率（%）小数点以下切り捨て
E：エネルギー消費効率（%）
Em：基準エネルギー消費効率（区分により求める）